

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第8週の発生動向

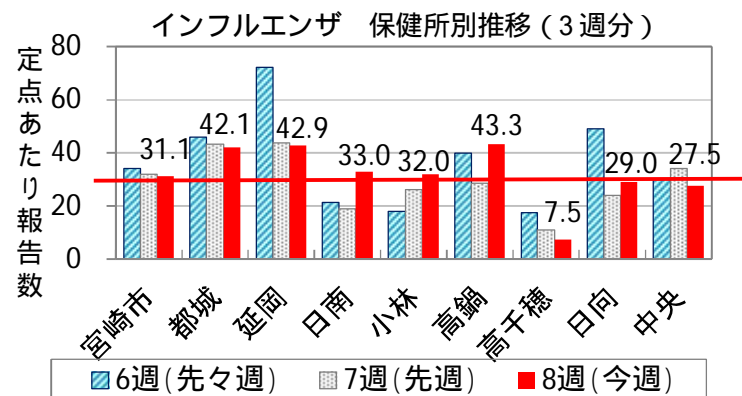
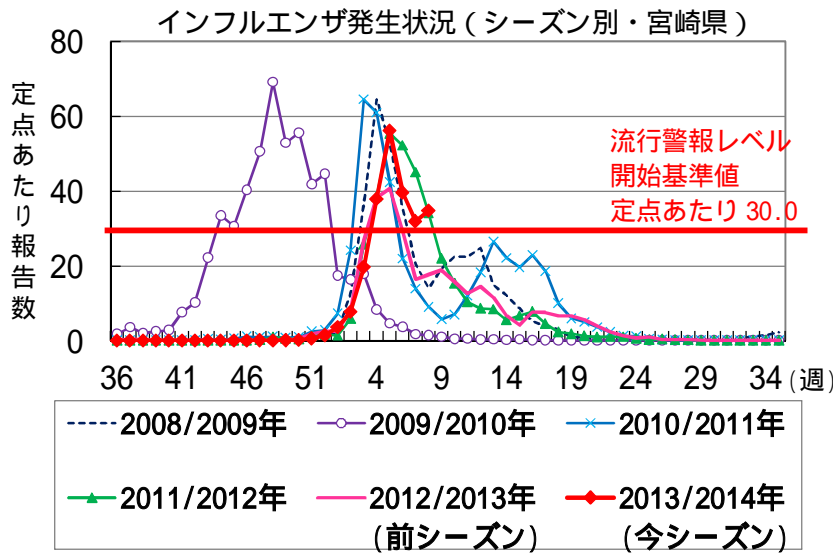
定点医療機関からの報告総数は 2,862 人 (定点あたり 59.7) で、前週比 110% と増加した。前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザと水痘で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症であった。

インフルエンザ・小児科定点からの報告

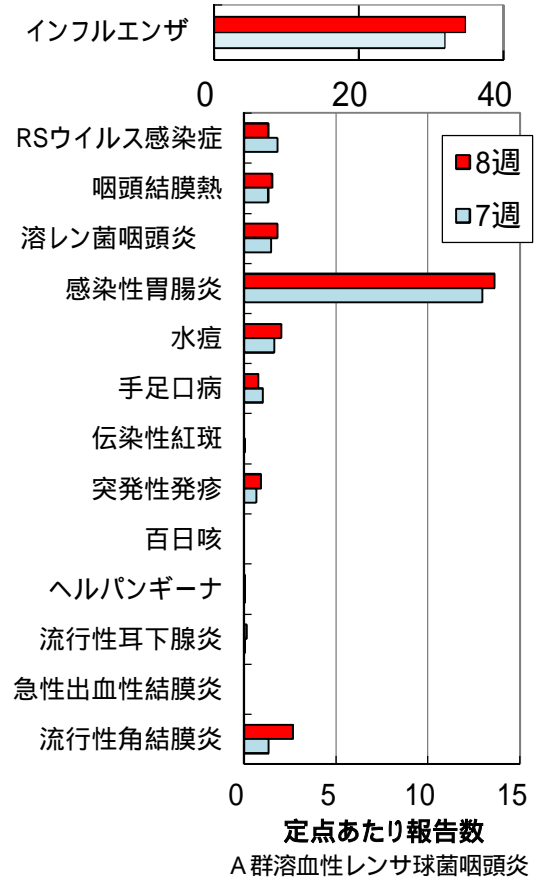
【インフルエンザ】

・報告数は 2,048 人 (34.7) で前週比 109% と増加した。例年同時期の定点あたり平均値* (16.0) の約 2 倍である。高鍋 (43.3)、延岡 (42.9)、都城 (42.1) 保健所からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 33%、6~9 歳が 28%、10~14 歳が 19%、15~19 歳が 4%、20 歳代~50 歳代が 13%、60 歳以上が 3% を占めた。

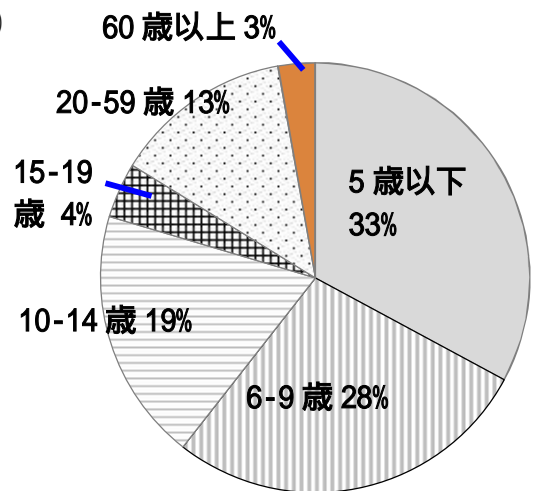
* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値



(前週との比較)

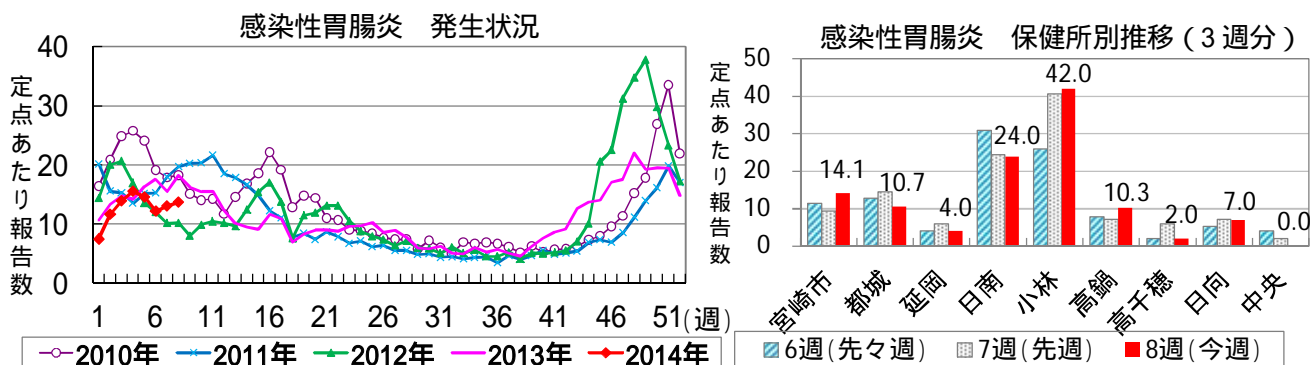


インフルエンザ年齢群別割合



【感染性胃腸炎】

・報告数は490人(13.6)で前週比105%と2週続けて増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(14.6)の約9割である。小林(42.0)、日南(24.0)保健所からの報告が多く、年齢別では2歳から6歳が全体の約半数を占めた。



基幹定点からの報告

無菌性髄膜炎：都城保健所管内から1人報告された。患者は月齢10ヶ月でNorovirus genogroup unknownが検出された。

流行警報レベル開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(31.1)
都城	インフルエンザ(42.1)
延岡	インフルエンザ(42.9)
日南	インフルエンザ(33.0)、感染性胃腸炎(24.0)
小林	インフルエンザ(32.0)、感染性胃腸炎(42.0)
高鍋	インフルエンザ(43.3)
高千穂	咽頭結膜熱(6.0)
日向	なし
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値 *

・インフルエンザ(30.0)

・咽頭結膜熱(3.0)

・感染性胃腸炎(20.0)

全数把握対象疾患

- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核4例。
- 3 類感染症：報告なし。
- 4 類感染症：A型肝炎1例、つつが虫病1例、レジオネラ症1例。
- 5 類感染症：後天性免疫不全症候群1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状
2類	結核	宮崎市	30歳代	その他の結核(腸結核)	盲腸、回腸に難治性潰瘍
			30歳代	疑似症患者	頸部リンパ節腫脹
			50歳代	無症状病原体保有者	-
			60歳代	疑似症患者	咳
4類	A型肝炎	宮崎市	60歳代	患者	全身倦怠感、発熱、食欲不振、黄疸、肝機能異常
	つつが虫病	都城	60歳代	患者	発熱、発疹
	レジオネラ症	宮崎市	80歳代	肺炎型	咳嗽、呼吸困難、意識障害、肺炎
5類	後天性免疫不全症候群	宮崎市	20歳代	無症候性キャリア	-

病原体情報（衛生環境研究所 微生物部 2014年2月23日までに検出）

ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状等	検出材料	検出日
インフルエンザAH1pdm09型	1	男	2014.2.1	インフルエンザA、39.7	咽頭ぬぐい液	2014.2.20
インフルエンザAH1pdm09型	60歳代	男	2014.2.12	インフルエンザ肺炎、39.0、下気道炎、肝機能・腎機能障害、	気管支吸引液	2014.2.18
インフルエンザB型 (山形系統)	1	男	2014.1.31	インフルエンザB、39.0、上気道炎	鼻汁	2014.2.20
インフルエンザB型 (ビクトリア系統)	10歳代	男	2014.2.3	麻疹疑い、36.5、発疹	咽頭ぬぐい液	2014.2.20

インフルエンザA型と診断された小児1名からインフルエンザAH1pdm09型が検出された。インフルエンザ肺炎と診断された成人男性1名からインフルエンザAH1pdm09型が検出された。インフルエンザB型と診断された小児1名からインフルエンザB型（山形系統）が検出された。また、麻疹疑いの患者1名からインフルエンザB型（ビクトリア系統）が検出された。国内のインフルエンザウイルスの検出状況を見ると、2014年第3週～第7週ではAH1pdm09の検出割合が最も多く、次いでB型、AH3亜型の順となっている。

細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
腸管凝集付着性大腸菌(O127a:H21)	0～4	女	2013.12.17	EPEC疑	便	2014.2.17

全国第7週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は39.7で、前週比88%と減少した。今週増加した疾患はなかった。減少した主な疾患は感染性胃腸炎とインフルエンザであった。

インフルエンザの報告数は139,162人(28.2)で、前週比92%と減少した。大分県(50.2)、北海道(42.6)、福岡県(40.3)からの報告が多く、年齢別では、5歳以下が全体の27%、6～9歳が28%、10～14歳が18%、15～19歳が3%、20歳代～50歳代が20%、60歳以上が4%を占めた。

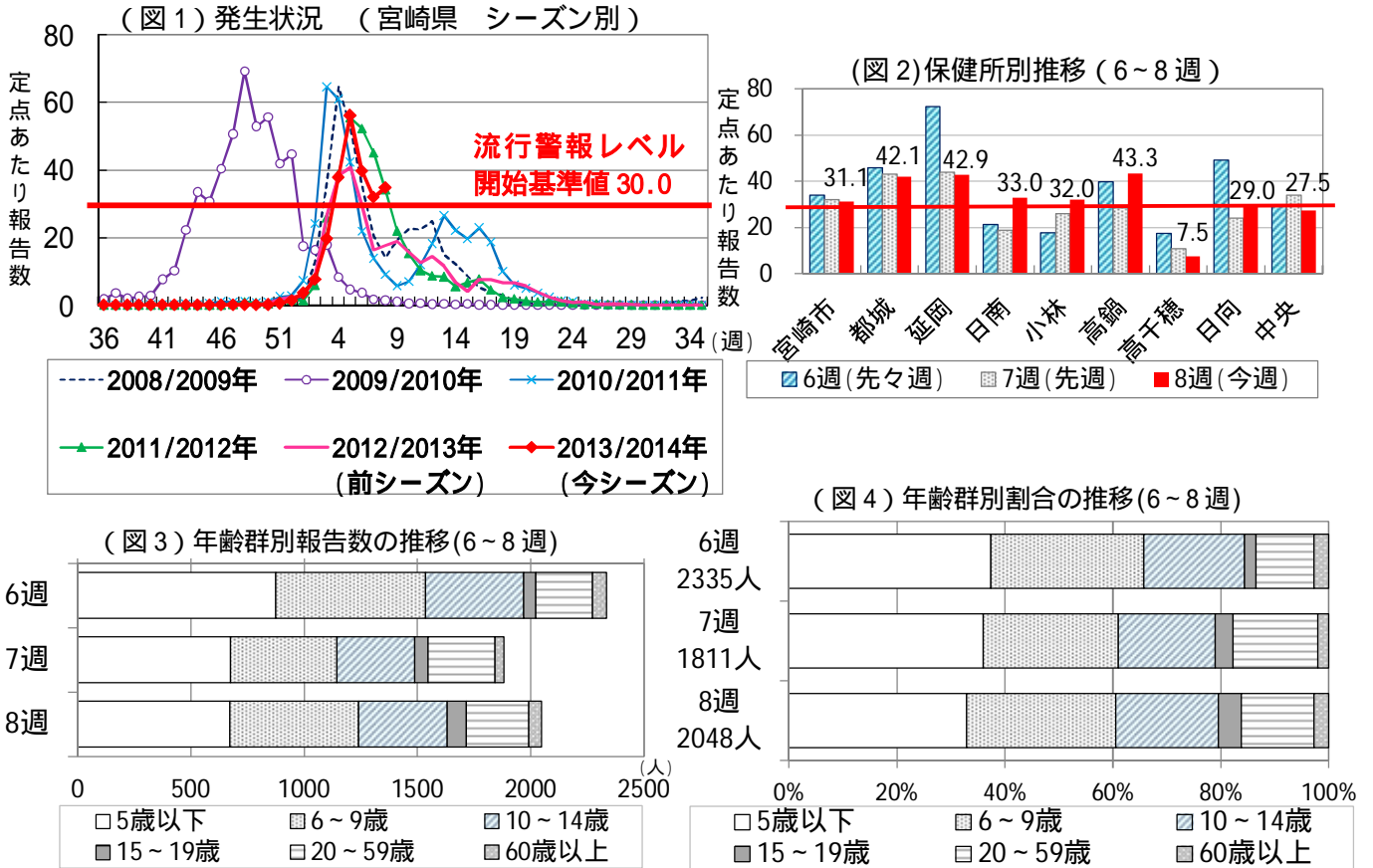
全数把握対象疾患（全国第7週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	292例				
3類感染症	細菌性赤痢	3例	腸管出血性大腸菌感染症	6例	腸チフス	1例
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	7例	つつが虫病	2例
	デング熱	4例	ブルセラ症	1例	マラリア	1例
	レジオネラ症	18例				
5類感染症	アメーバ赤痢	10例	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎	12例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例	後天性免疫不全症候群	15例	ジアルジア症	2例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	16例	先天性風しん症候群	1例
	梅毒	11例	破傷風	1例	風しん	6例
	麻しん	16例	髄膜炎菌性髄膜炎	1例		

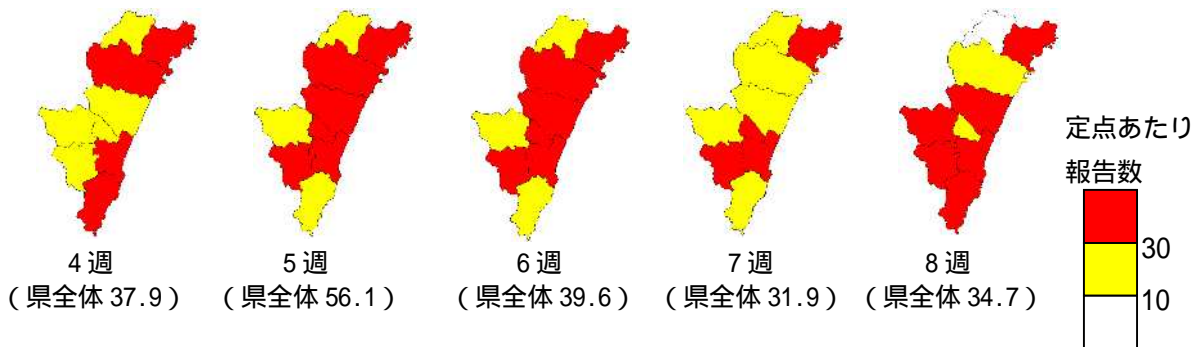
インフルエンザ情報《県内第8週、全国第7週（再掲）》

県内第8週インフルエンザ発生動向

平成26年2月17日～2月23日までの1週間で2,048人（定点あたり34.7）の報告があり、前週の約1.1倍に増加した（図1）。例年同時期の定点あたり平均値（16.0）の約2倍である。保健所別報告数を（図2）、年齢群別報告数の推移を（図3）、年齢群別報告数の割合の推移を（図4）に示す。



保健所別インフルエンザ警報・注意報レベル状況 2014年 第4～8週



全国第7週インフルエンザ発生動向

平成26年2月10日～2月16日までの1週間で139,162人（定点あたり28.2）の報告があり、前週比92%と減少した。大分県（50.2）、北海道（42.6）、福岡県（40.3）からの報告が多く、年齢別では、5歳以下が全体の27%、6～9歳が28%、10～14歳が18%、15～19歳が3%、20歳代～50歳代が20%、60歳以上が4%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2014年 第08週(02月17日～02月23日)

疾病名		第7週	第8週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1881	2048	498	421	300	165	160	260	15	174	55
	定点あたり	31.88	34.71	31.13	42.10	42.86	33.00	32.00	43.33	7.50	29.00	27.50
RSウイルス 感染症	報告数	65	47	5	4	13	9	4	5		6	1
	定点あたり	1.81	1.31	0.50	0.67	3.25	3.00	1.33	1.25	0.00	1.50	1.00
咽頭結膜熱	報告数	47	55	21	4	10	7		3	6	4	
	定点あたり	1.31	1.53	2.10	0.67	2.50	2.33	0.00	0.75	6.00	1.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	53	65	11	7	15	5		2	3	18	4
	定点あたり	1.47	1.81	1.10	1.17	3.75	1.67	0.00	0.50	3.00	4.50	4.00
感染性胃腸炎	報告数	466	490	141	64	16	72	126	41	2	28	
	定点あたり	12.94	13.61	14.10	10.67	4.00	24.00	42.00	10.25	2.00	7.00	0.00
水痘	報告数	59	73	12	25	3	16	10	6		1	
	定点あたり	1.64	2.03	1.20	4.17	0.75	5.33	3.33	1.50	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	37	28	18				3	5			2
	定点あたり	1.03	0.78	1.80	0.00	0.00	0.00	1.00	1.25	0.00	0.00	2.00
伝染性紅斑	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	24	33	7	4	8	2	3	6	1	2	
	定点あたり	0.67	0.92	0.70	0.67	2.00	0.67	1.00	1.50	1.00	0.50	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	1	1								
	定点あたり	0.03	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	5	1	1	1			1	1		
	定点あたり	0.06	0.14	0.10	0.17	0.25	0.00	0.00	0.25	1.00	0.00	0.00
急性出血性結膜 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	8	16	14	1	1						
	定点あたり	1.33	2.67	4.67	0.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1	1		1							
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2014年第1週～8週)

2類感染症	結核	23例(4)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例			
4類感染症	A型肝炎	2例(1)	重症熱性血小板減少症候群	1例	つつが虫病
	レジオネラ症	1例(1)			5例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	後天性免疫不全症候群	2例(1)	梅毒
	破傷風	1例	麻しん	3例	

()内は今週届出分、再掲